

## 予 算 決 算 常 任 委 員 会

1. 日 時 平成29年3月6日（月）

午前9時30分 開会 午前11時52分 休憩

午後1時10分 再開 午後2時04分 閉会

平成29年3月10日（月）

午前10時00分 開会 午前10時17分 閉会

2. 場 所 本会議場

3. 出席委員 【予算決算常任委員会】

川崎順次委員長、吉本慎太郎副委員長、南藤陽一委員、宮橋勝栄委員、井田秀喜委員、木下裕介委員、新田寛之委員、吉村範明委員、浅村起嘉委員、梅田利和委員、高野哲郎委員、片山瞬次郎委員、出戸清克委員、二木攻委員、宮西健吉委員、宮川吉男委員、橋本米子委員、表靖二委員、浅野清利委員、北出隆一委員、杉林憲治委員、灰田昌典委員

4. 欠席委員 なし

5. 委員会の議題

議案第1号 平成29年度小松市一般会計予算

議案第2号 平成29年度小松市国民健康保険事業特別会計予算

議案第3号 平成29年度小松市介護保険事業特別会計予算

議案第4号 平成29年度小松市公債管理特別会計予算

議案第5号 平成29年度小松市産業団地事業特別会計予算

議案第6号 平成29年度小松市後期高齢者医療特別会計予算

議案第7号 平成29年度小松市水道事業会計予算

議案第8号 平成29年度小松市下水道事業会計予算

議案第9号 平成29年度国民健康保険小松市民病院事業会計予算

議案第10号 平成28年度小松市一般会計補正予算（第5号）

議案第11号 平成28年度小松市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）

議案第12号 平成28年度小松市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）

議案第13号 平成28年度小松市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）

議案第14号 平成28年度小松市公債管理特別会計補正予算（第1号）

議案第15号 平成28年度小松市公共下水道事業会計補正予算（第3号）

議案第16号 平成28年度国民健康保険小松市民病院事業会計補正予算（第2号）

議案第17号 小松市高等教育振興基金条例について

議案第20号 小松市特別会計条例の一部を改正する条例について

議案第22号 小松市手数料条例の一部を改正する条例について

議案第32号 専決処分の承認を求めることについて

## 6. 委員長報告の要旨

### ■議案第1号 平成29年度小松市一般会計予算について

公立4年制大学設立準備費のうち広報活動費については、公立小松大学の学生募集にかかる広報活動に要する経費であります。学生の確保においては、一般的な広報活動のみならず、独自の奨学金制度の設定など、学生を呼び込む仕掛けを構築するよう求めました。

■職員人件費については、行財政改革の一環で進められてきた保育士をはじめとする正規職員の不補充による人員削減については、すでに現場における歪みが生じはじめているとのことから、これ以上の削減に反対する意見が出されました。

■広報・広告・宣伝費については、地域コミュニティに入らない市民や住民票を持たない居住者に対する情報提供のあり方について、今後の課題として調査・検討するよう求めました。

■防災体制強化費のうち「わが家の防災ファイル」については、今後も全世帯への配布を続けていくとともに、更なる活用を促し、市民の防災に対する理解を深めさせるためにも、内容の充実を図っていくよう求めました。

■3D-CAD活用推進費については、3D-CADの民間事業者における利活用を更に拡大し、建設生産システム全体のレベルアップを実現していくためにも、官民一体となって普及促進に努めていくよう求めました。

■市立高校改修費については、経年劣化した外壁の最終工事と災害時の避難所に指定されている体育館トイレの洋式化等に係る経費とのことであり。市立高校は、現在の建物が建設から約30年

経過しているため、校舎のみでなく、グラウンドも含め、計画的な改修等に努め、よりよい教育環境の整備を期待するものであります。

■**小中学校の施設維持管理費**については、空調等の電気使用量を30分ごとに調整するデマンド管理を実施しているとのことであります。いきすぎた経費節減により、児童生徒の体調管理が後回しになっているのではないかと懸念の声がありました。

児童生徒が安心して学校生活を送ることができるよう最適な教育環境の提供を強く求めました。

■**授業支援費のうち学力調査**については、小学校3年生、5年生、中学2年生を対象としたもので、国県において実施する学力調査を補う形で実施しているとのことでありますが、市で実施する必要性について、一部の委員より検討するよう求める意見が出されました。

■**ひとつものづくり科学館関連予算**については、教育委員会の所管となったことで、学校との連携により子どもの入館者が増えているとのことであります。しかし一方で、付き添いの保護者が有料ゾーンに入らず、来客一人あたりの単価が下がっている状況でもあります。館の魅力アップを目指し、今年度より増員した理科支援員による体験教室や科学クラブの充実を図っていくとのことでありますが、委員からは、これまでも各種イベントが行われているわくわくホールの稼働率を更に向上させることで館全体の相乗効果も期待できるため、わくわくホールの有用性を幅広く周知するよう求める意見が出されました。そして今後とも、引き続き収支の改善につとめ、経営の健全化を図る一層の努力を求めました。

■**保育所等管理運営費**については、公立保育所等の民営化に伴い、正規保育士の採用を行わず、臨時保育士で対応しているとのことでありますが、最終的に一部を公立保育所等として運営していくのであれば、将来を見据え、計画的に正規保育士の採用を行うよう求めました。

■**児童扶養手当給付費**については、ひとり親家庭へ給付される手当で4ヵ月分をまとめて支給される国の制度ではありますが、受給者の生活の安定を図るためにも、支給時期等、他市の先進事例を参考にし、柔軟な対応を求めました。

■**公民館活動振興費**については、地域が主体となり取り組んでいる各校下公民館の活動に対する経費とのことでありますが、今後、更に各校下、地域の果たす役割が大きく、重要になってくることから、地域活動充実のため、予算の拡充を強く求めました。

■**スポーツ関連予算**については、2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて、カヌー

やトランポリン等を筆頭に、様々な競技の事前合宿誘致を積極的に取り組むためにも、国内外に出向き、トップセールスによる誘致が必要であるという意見が出されました。

■**企業誘致対策費及び雇用対策活動費**については、企業誘致対策費は、企業からの情報収集を行う産業振興アドバイザー業務等に係る費用、また、雇用対策活動費については、こまつ・のみ・かが合同就職面接会及び説明会の開催等に要する費用とのことであります。

今後も、バランスの取れた産業構造となるよう企業誘致に努め、雇用の拡大を図っていくよう求めました。

■**芦城公園四季の花物語費**については、芦城公園には、樹齢 200 年を超えると推定される大藤があり、その藤棚の増設工事、また、藤棚のライトアップに要する費用とのことであります。

ライトアップを行うことにより誘客増加にも繋がりますので、市全体において継続的に実施し、魅力アップを図っていくよう求めました。

#### ■**議案第 2 号 平成 29 年度小松市国民健康保険事業特別会計予算について**

**医療費適正化事業費**については、後発医薬品、いわゆるジェネリック医薬品の普及啓発及び差額通知による普及啓発に係る経費とのことであります。差額通知の実施により、およそ一年間で 400 万円の削減効果が見込まれるとのことであり、更なる普及啓発に努め、増加の一途をたどる医療費の抑制を求めました。

なお、一部の委員より、社会保障・税番号システム、海外への行政視察及び交流促進にかかる経費に対し、反対する意見があったことを申し添えておきます。

分科会委員長報告に対する質疑、討論はなく、採決の結果、議案第 1 号から議案第 16 号までは、賛成多数をもって、議案第 17 号、議案第 20 号、議案第 22 号及び議案第 32 号の以上 4 件は全会一致をもって、いずれも原案どおり可決・承認すべきものと決した次第であります。